

日本橋モラロジー事務所 概論研究会 (5)

自我没却

自我とは（1）

- 自己保存と自我
 - 自己生命の維持を、自己の発展に努める→自己保存の本能
 - 人間として、時間の経過とともに
知恵や経験を会得し、損得や善悪を身につけ、感情・欲情を発揮
 - 人間世界における相互依存の方法を身につける
 - 「自我の完成」「自我の自覚」「自我の確立」
- 煩惱——心の三毒
- 現代人の自我

自我とは（2）

- 自己保存と自我
- 煩惱——心の三毒
 - 「貧（とん）、瞋（しん）、痴（ち）」の3つ
 - 貧→「むさぼりの心」
なんでも際限なく心向くままに欲求を追求！結局は、悩みの種になる
 - 瞋→「憎み怒る心」
自分の価値観を元として、敵を攻撃！恨み辛みの世界を自らが作る
 - 痴→「真理に無知の心」
無知を顧みず、誤解や偏見、物事の良し悪しが理解不能、自分を見失う
- 現代人の自我

自我とは（3）

- 自己保存と自我
- 煩悩ーー心の三毒
- 現代人の自我
 - 欲の「コンビニ化」
 - 食欲、性欲、出世欲、地位欲、名誉欲、金銭欲、財産欲・・・
 - インサイド・インより、アウトサイド・アウト
自らを高めるより、外によりよく見せたい（住まい、車、持ち物・・・）
 - 自分を必要以上にわかってもらいたい
 - 自分を必要以上に抑制する
 - 「飢餓」の誘惑
 - やって見ないと気が済まない→グルメ、経験・体験、収集など

自我没却の目的

- 品性向上
- 他方への配慮
 - 自分と相手のみならず、第三者への配慮をつくす
 - 相互扶助ネットワークの存在の認知と積極的な関与
- 積極思考の実践
 - 「悲観的に準備して、楽観的に着手する」
 - 段取り80%、本番20% → 準備に怠りなく
 - 過去は20%、現在75%、未来5%に生きる、今にこだわる！
 - 失敗は恐れない、必ずある！失敗を糧にどれだけ前に進めるか？
 - 『やっていれば・・・』運が身に付く

自我没却の方法とは

- 物事の道理を会得する
- 歴史の経験を学ぶ
- 視野の拡大と寛大な精神

自我没却の効果

- 創造性が芽ばえる
- 自己中心の利己的な精神をコントロールできる
- 真理を愛し、自己流や欲求の心の束縛から離れ
無私・無我の心を確立
- 自己の可能性の絶対的自信がつく
- 大きな視野を獲得し、適切な判断と行動が効能となる
- 同時に暖かく朗らかな品性が身につき、 . . .

自我没却とは

- どこかの部分で触れていたけど・・・
 - 利己心より利他心に重きを置く

- 私の意見は
 - 利己心を徹底的に鍛えて、利己心を極めることが重要
 - 中途半端な「利他心」より、巨大な「利己心」を背景にしたほうが結局効果的にではないか！